

様式第3号（第10条関係）

事業実績書（記入例）

大 学 等 名	〇〇大学		
事 業 の 名 称	地域課題の解決に向けた調査研究及び実践活動		
連 携 先	〇〇地域づくり団体		
事業の実施期間	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日		
宿 泊 期 間	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日（〇泊〇日）		
参 加 人 数	〇〇人	延べ宿泊者数	〇〇人泊
事業の実施内容	<p>（実施した活動の内容、実施日、実施場所、参加状況等を記載すること）</p> <p>本事業では、地域課題の把握と解決に向けた検討を行うため、地域団体等と連携し、現地調査、関係者へのヒアリング、意見交換及び実践活動を実施した。実施初日は、地域の現状や課題に関する説明を受けた後、活動内容の確認及び現地視察を行った。</p> <p>その後、地域住民、関係団体等へのヒアリングを通じて、地域の現状、課題、今後の可能性について把握した。また、地域課題の解決に向けた企画検討を行い、現地での実践活動や意見交換の機会を設けた。</p> <p>最終的には、活動を通じて得られた内容を整理し、成果報告を行った。</p>		
事業の効果と課題	<p>本事業の実施により、地域の実情や課題について理解を深めるとともに、外部の視点を交えた新たな気付きや提案の可能性を得ることができた。</p> <p>また、大学等と地域団体との連携を通じて、継続的な関係づくりを進める契機となった。</p> <p>一方で、限られた日程の中で把握できる情報には制約があり、課題の背景や地域ニーズをより深く整理するためには、継続的な対話や追加調査が必要である。</p> <p>あわせて、提案内容を実際の地域活動につなげていくためには、地域の実情に応じた実施方法の検討が必要である。</p>		
地域への還元内容	<p>活動終了後、実施内容や調査結果、検討内容等を取りまとめた報告書を作成し、連携先へ提出した。</p> <p>また、成果報告の機会を設け、関係者に対して活動結果を共有した。必要に応じて、活動の中で作成した資料や提案内容についても提供し、今後の地域づくりの参考となるよう還元を行った。</p>		